

『大日本古記録 後愚昧記』所収文書編年目録

菅原昭英

『大日本古記録 後愚昧記』一・二・三・四附実冬公記に収録する文書は、日次記に継ぎ入れられたり写し取られたりした附載文書、日次記

と不即不離に集積された附帯文書、日次記と附帯文書との双方に見られる紙背文書があり、ほぼ完形をとどめるもの約五〇〇点、断簡の類約一〇〇点である。この内、原本の伝存する分が約四〇〇点、写本で伝わる分が約二〇〇点である。『砂敵』所収の目録や『諸人諮問目録』を参照すると、散逸してしまった附帯文書が、まだかなりあったことがうかがえる。この外、日次記には、部分的に引用されている文書や、文書の存在に言及している記事、さらに日次記の記事内容が、他人から送られた書状や散状等に基づくことの方かる部分も多い。このように文書の比重の大きいことは、記録としての後愚昧記にみる著しい特色である。ところで『大日本古記録 後愚昧記』の編纂にあたっては、なるべく後愚昧記の古い形態に復原することを目標としたため、同時期の文書が同じ所にまとまっているわけではない。そこで主に検索の不便を補う目的で、所収文書の編年目録を作成した。

例言

一、この編年目録に採ったのは、ほぼ完形をとどめる文書等と、断簡とに限り、日次記に部分的に引用されているもの等は、省いた。
二、後愚昧記と実冬公記とをあわせ年次毎に文書をまとめて、日付順にならべ、日付不詳はその後に付けた。また紙背文書の内、表の記事に

先行したと考えられるけれども年次未詳の分は、各年の文書の次に掲げた。

三、文書の年次表記について、文書自体に年次の記されているものは◎、文書自体に年次を補筆もしくは附箋したとみられるものは○、前後の関係や内容から編者が年次比定したものは△の印を付けた。月日について編者の比定したものは（ ）内に記した。

四、文書名の下に、書出し部分一律七字だけ割書で示し、文書の同定の便に供した。「」は欠損を、∴は書写に際しての省略符号を示す。

五、類別の略号として、載は附載文書、帯は附帯文書、背は紙背文書であることを示す。参は、附帯文書であった可能性のある参考文書である。

六、大日本古記録所収冊の略号として、①、②、③、④、⑤はそれぞれ第一・二・三・四冊及び第四冊に附収した実冬公記の部分であることを示す。その下の算用数字は頁数である。

七、当該文書について、現存する原本の略号は次の通りである。
史 東京大学史料編纂所所蔵後愚昧記原本(重文)。略号の下の数字は、巻序を示す。

陽 財団法人陽明文庫所蔵後愚昧記原本(重文)。

尊一 財団法人尊経閣文庫所蔵山門噉訴記、尊二 同所蔵後愚昧記(応安六年)原本。

壬一 宮内庁書陵部所蔵応安二年正月記、壬二 同所蔵七仏薬師於禁
中被行例等持寺御八講、壬三 同所蔵壬生新写古文書底本第一
二一巻、壬四 同所蔵日記諸勘例切(諸勘例日記切々)、壬五 同
所蔵壬生家蔵消息一、壬六 同二。
京 京都大学文学部博物館所蔵壬生文書の内。
七、写本についての略号は、次の通りである。略号の下の数字は冊序を
示す。

抄一・二・三 宮内庁書陵部所蔵三条西実隆抄本後愚昧記抄。

抄四 東大史料編纂所所蔵三条西公条抄本後愚昧記含実冬公記抄。

諸 宮内庁書陵部所蔵諮問抄。

陵 宮内庁書陵部所蔵諸寮寮旧蔵一九冊本後愚昧記。

平 京都大学附属図書館所蔵平松本後愚昧記。

予 陽明文庫所蔵予楽院本後愚昧記。(大日本古記録使用冊のみ)

勅 勅修寺本後愚昧記の東京大学史料編纂所所蔵影写本。(同右)

柳一 宮内庁書陵部所蔵柳原本後愚昧記。柳二 同所蔵柳原本実冬公
記。柳三 同所蔵柳原本除目部類記。

倉 財団法人大倉精神文化研究所所蔵除目部類記。

史料館 国文学研究資料館史料館所蔵三条西本実冬公記。

なお、年次表記で○印をつけた文書に見られる年次の補筆・附箋は、
原本のある例からすると、いずれも後愚昧記の記主三条公忠自身の筆跡
と思われる。もとの文書には記されていない年次、差出、充所などを、文
書の端裏、うわ書、書出しの肩、月日の肩などに小さく書き加えてい
る。これは、ひとたび書状などとして機能した文書を、二次的に記録と
して転用するための処理と考えられる。この処理の施された文書は、原
本のあるところで六九点、写本であってもそれとかがえるものが三〇
点ほど見える。いわば文書そのものを記録化したといつてよい附帯文書

に、この処理が六九点と多く見られるのは、当然であろう。しかし日次
記の中の附載文書にもこれが散見する。日次記の地の文で文書に言及し
て、「継之」としたり、逆に「在別」としてあったりすることと合わせ
考えると、ここから公忠の日次記の執筆あるいは編成過程の一端をうか
がうことも出来よう。処理をした文書をしばし丸め置き、ついで附載文
書か附帯文書かに割り振ったのであろうか。

康安元年(延文六年三月九日改元)

1 ○四月一日 中原師茂勘例

2 △四月四日 柳原忠光書状

3 ◎四月一八日 僧事聞書

4 △(四月二七日) 三条公忠書状案

5 △(六月二六日) 最勝講次第

6 △(七月二日) 最勝講僧名

7 康安元年紙背年未詳

貞治二年

8 ◎正月二六日 万里小路仲房申文

9 △(正月二六日) 万里小路仲房申文

10 △正月二九日 三条実継書状

11 △(正月二九日) 三条公忠書状案

平庶參議
行事例?
帯◎151 史一九 柳一 平二二

今度儀条
々依御?
帯◎152 史一九 柳二 平二二

僧正光濟
僧正?
背◎156 史一八

仰明後日
可被召?
帯◎155 史一八 平二五

最勝講次
最初日?
帯◎158 史一八 平二五

最勝講証
義者大?
載◎29 史一 柳一 平一

中務權大
輔殿
背◎160 史一八

正六位上
藤井宿?
帯◎162 史一八

從七位上
藤井宿?
帯◎162 史一八

抑批申文
出来執?
帯◎161 史一八

抑一通?
見子只?
帯◎161 史一八

12	◎正月	三条実継草申文案	正六位上 藤井除目	帶◎164	抄二	31△(七月二〇日)	三条公忠書状案	中納言殿 御出仕	帶◎174	史二一 抄四	平二	
13	〇正月	久我通相勘例	此間二 ても二	帶◎164	抄二	32〇七月二六日	四条隆郷事書	不審条々 一父母	帶◎181	抄四	平二	
14	〇閏正月一日	三条実継書状		帶◎162	抄二	33△(七月)	三条公忠返答案	不審之処 喜奉候	帶◎171	史二一 抄四	平二	
15	◎四月一三日	三条公忠勘返案	寄進日吉 十輝師	載◎59	陵一 平二	34△(七月)	三条公忠書状案	不審之処 喜奉候	帶◎171	史二一 抄四	平二	
16	◎四月一三日	足利義詮寄進状	寄進山門 根本中	載◎59	陵一 平二	35△(七月)	同右草	不審之処 喜奉候	背◎171	史二一 抄四	平二	
17	△(六月二日)	足利義詮寄進状	夏日歌社 頭祝和社	載◎62	陵一 平二	36△(八月一日)	三条実継事書	不審之処 喜奉候	帶◎172	史二一 抄四	平二	
貞治三年												
18	◎正月五日	三条公忠和歌懷紙	正二位源 親光從	載◎80	陵二 平三	37△(八月一日)	三条実継書状	不審之処 喜奉候	帶◎176	史二一 抄四	平二	
19	◎三月一四日	叙位聞書	内大臣藤 原実俊	載◎75	陵二 平三	38△(八月二日)	三条公忠書状案	委細御報 喜存候	帶◎176	史二一 抄四	平二	
20	◎三月一四日	任大臣小折紙	天皇我詔 旨良万	載◎75	陵二 平三	39△(八月一二日)	三条実継書状	仰散蒙 仰散蒙	帶◎177	抄四	平二	
21	△三月一八日	後光嚴天皇宣命	任大臣節 会内弁	載◎76	陵二 平三	40△(八月一三日)	三条公忠書状案	筆候何 此間又聞	帶◎178	史二一 抄四	平二	
22	△(三月二六日)	柳原忠光書状	京大狩野 集文書	載◎76	陵二 平三	41△	三条公忠書状案	到来境 昨日御札	帶◎182	史二一 抄四	平二	
		禁裏舞御覽所作人交名		載◎77	陵二 平三	42△	三条公忠書状案	重喪之人 令復任	帶◎183	史二一 抄四	平二	
23	△(四月)	後光嚴天皇女房奉書	舞御覽 前右衛門	背◎179	史二一	43△	三条公忠書状案	彼御事尚 々無申	帶◎183	史二一 抄四	平二	
24	◎五月一五日	山名時氏判物	一日御返 事こま	背◎167	史二一	貞治三年紙背年未詳			積貯無極 候之処	帶◎183	史二一 抄四	平二
25	△七月一七日	柳原忠光書状	三条前内 大臣家	背◎173	史二一	44	三条公忠書状	書強不申 承之様	背◎174	史二一	平二	
26	△(七月一九日)	三条実継書状	「」忠光 参仕候	背◎169	史二一	七月八日	一条実材勘返	天子玉璽 事後漢	背◎167	史二一	平二	
27	△(七月一九日)	一条経通申詞	何事御程 候設彼	帶◎170	抄四	45	勘例	今日西郊 へ可有	背◎184	史二一	平二	
28	△(七月一九日)	三条実継申詞	七々御 経定上	帶◎170	抄四	貞治四年			御周忌無 程實近	帶◎179	史二一 抄四	平二
29	△七月一九日	洞院実夏申詞	七々御 経定上	帶◎170	抄四	47	三条公忠書状	御周忌無 程實近	帶◎179	史二一 抄四	平二	
30	△七月二〇日	三条実継書状	昨日申承 候恐悦	帶◎172	抄四	〇六月二〇日	三条実継書状	御周忌無 程實近	帶◎179	史二一 抄四	平二	

48	○七月一日	柳原忠光書狀	大敵之儀 無為被々	參四 91	京大壬生文書(存)
49	△一二月一二日	三条実繼書狀	此間連々 申承候々	帶三 185	史三 陵一六平二七
50	△(一一月)	三条公忠書狀案	連々申奉 候誠為々	帶三 187	史三 陵一六平二七
51	△	土御門定具事書	大秋參行 事一可々	帶三 180	壬四 陵一二平二四 抄四
貞治四年紙背年未詳					
52	一二月八日	三条公忠書狀	名国司事 御披露々	背三 187	史三
三条実繼勘返					
53		三条公忠書狀案	賜候了恩 報則進々	背三 180	壬四
54		三条家家司書狀案	畑庄外宮 役夫工々	背三 188	史三
貞治五年					
55	△(二月)	後村上天皇書狀	依無差事 雖未染々	帶三 189	抄二
56	○二月九日	三条公忠書狀案	勅書路以 拜見候々	帶三 190	史二 抄二八
57	△(七月三日)	三条公忠書狀	此間閣筆 候何事々	背三 97	史二 平四
三条実繼勘返					
58	△(八月二〇日)	三条公忠申詞	行幸可被 用屏御々	載三 88	史二 平四
59	△(八月二日)	上乘院経深書狀	若公來廿 三日可々	背三 98	史二 平四
60	△八月二日	上乘院経深書狀	「御」得此 「御」可々	背三 99	史二 平四(59の 続)
61	△九月四日	上乘院経深書狀	若公御出 家無為々	背三 99	史二 平四
貞治五年紙背年未詳					
62	二月三日	季脩書狀	「御」不 審候委々	背三 191	史二 八
63	八月一日	正親町実綱書狀	「事」期 參拜候々	背三 97	史二
64		詩稿	城中郭外 幾千株々	背三 100	史二
貞治六年					
65	○正月	頼阿点統歌百首	統歌立香 こそと々	背三 148	陽 劬一〇
66	△(三月一〇日)	三条公忠和歌懷紙	春日陪新 玉津島々	載三 107	陽 平五
67	◎三月二九日	中殿御会詠歌并序	殿目侍中 殿同詠々	載三 110	陽 平五
68	◎四月一三日	除目聞書	藤原実納言 權大納言	載三 117	陽 平五
69	△(四月二四日)	法華八講僧名	証義者前 僧正候々	載三 119	陽 平五
70	△(五月三日)	七僧法会僧名	左方呪願 前僧正々	載三 121	陽 平五
71	△(五月二三日)	柳原忠光書狀	昨日御札 遣拜見々	載三 123	陽 平五
72	△(五月)	中原師茂書狀	「正」正 仗議并々	帶四 71	史二 五
73	△八月七日	三条公忠書狀案	委細御報 悦存候々	載三 127	陽 平五
74	△(八月七日)	三条実繼書狀	度々申承 候本望々	載三 128	陽 平五
75	△(八月七日)	勘例	信範卿記 永方二々	載三 147	陽 平五
76	△(八月八日)	三条公忠書狀案	黒染袴着 袴以前々	載三 129	陽 平五
77	△(八月八日)	三条実繼書狀	昨日度々 專使恐々	載三 129	陽 平五
78	△(八月)一八日	最勝講散狀	最勝講十 八日初々	載三 132	陽 平五
79	○九月二六日	三条実繼書狀	兩三日者 不啓上々	載三 138	陽 平五
80	◎九月二九日	後光厳天皇宣命	天皇我詔 旨良万々	載三 141	陽 平五
81	△一〇月四日	三条公忠書狀	何事御程 候哉於々	載三 140	陽 平五
三条実繼勘返					
82	△一二月八日	中御門宣方書狀	委細良承 候了委々	背三 159	陽 劬一〇
83	△一二月一三日	三条実音書狀	一夜參拜 恐悅之々	背三 156	陽

84	△(二月一七日)	三条実継書状	抑例不審 題目等	載①145	陽	平五
85	△(二五日)	畑莊莊官書状	委細拜見 住了押見	背①155	陽	抄一(節会外)
	貞治六年紙背年未詳					
86	一二月一六日	三条実継書状	此間連々 申奉候	背①157	陽	勅一〇
87		某書状断簡	廿三日御 文同四	背①155	陽	
88		三条公忠カ詠草	歌湖上 歌三首	背①155	陽	
89		三条実冬和歌懷紙	詠三首和 歌左中	背①156	陽	
90		三善基統和歌懷紙	詠三首和 歌右馬	背④85	陽	勅一〇
91		某書状	書絶久不 染筆候	背①159	陽	勅一〇
	応安元年(貞治七年二月十八日改元)					
92	△正月四日	三条実継書状	三陽佳期 万端之	帶③192	史二 抄三	
93	△(正月四日)	三条公忠書状案	候例事 抑示賜	帶③193	史二 抄三	
94	△(正月一五日)	三条公忠書状案	略許候 痲	帶③194	史二(陵二平二四) (入道左)	
95	△正月一八日	三条実音書状	十六日節 会以外	載①161	抄一柳一	
96	△(正月一八日)	三条公忠書状案	委細書奉 候了面	帶③195	壬四 陵二平二四	
97	△正月一八日	三条実音書状	委細貴報 恐悦候	帶③196	史一七 抄一柳一	平二八
98	〇正月一八日	三条実継書状	此間又聞 筆候何	帶③197	史一五 勅九	
99	△(正月一八日)	三条公忠書状案	喜奉候 候	帶③198	史二三 勅九	抄一(先日大)
100	△五月七日	松殿忠嗣書状	昨日委細 貴報殊	帶③202	陵二平二〇 勅九	
101	△五月七日	三条公忠書状案	連々芳問 為悦候	帶③203	史二六陵二平二〇 勅九	
102	△(五月七日)	山陵日時使次第案(三条公忠草)	先上卿已 下着陣	帶③203	史二六陵二平二〇 勅九	
103	△五月九日	三条公忠書状案	抑依委異 被立山	帶③204	史二六陵二平二〇 勅九・九	
104	〇五月九日	中原師茂書状	おほせか ふり候	帶③204	史二六陵二平二〇 勅九	
105	〇五月九日	中原師茂勘例	依委異自 公家被	帶③205	史二六陵二平二〇 勅九	
106	△(五月一〇日)	山陵使次第案(三条公忠草)	山陵使事 使作法	帶③200	史二六陵二平二〇 勅九	
107	〇五月一日	松殿忠嗣書状	昨夕預高 札候之	帶③207	壬五 陵二平二〇	
108	〇五月二五日	三条実継書状	誠此間聞 筆候之	帶③209	史二〇陵二八平二三 勅九・九	
109	〇五月二六日	三条実継書状	候日申承 候為悦	帶③211	史二〇陵二八平二三 勅九・九	
110	〇(五月)	尊道親王書状	車事長 物見聞	背③210	史二〇 勅九	
111	△(五月)	三条公忠書状	此間又恐 筆候何	帶③207	抄一柳一 陵二平二〇	
112	〇閏六月 日	延暦寺大衆奏状	延暦寺三 千大衆	載①170	尊一 抄一	
113	〇七月 日	延暦寺大衆奏状	延暦寺三 千大衆	載①174	尊一 抄一	
114	〇七月一〇日	延暦寺政所集會會議事書				

131	○正月一日	三条実継書状	祝言使々 申承候々	帯③ 213	抄三子一九
130	△(正月四日)	三条公忠書状案	抑輕服之 人冠礼之	載① 190	抄三 壬五 陵三 平六
129	△正月四日	三条実継書状	嘉祝等最 前申承	載① 189	抄三 壬五 陵三 平六
128	◎正月一日	後光厳天皇宣旨	左馬頭源 朝臣義源	載① 189	史三 陵三 平六
127	◎正月一日	某書状懸紙	毘沙門堂	背③ 203	史一六
126		三条実継書状	干藁や候 らん被	背③ 202	史一六
125		大宮実尚書状懸紙	実尚	背③ 199	史二三
124		懸紙	延福寺御 卷数	背③ 196	壬四
123		懸紙	宝塔寺歳 末御卷	背③ 195	史二二
122	◎一二月三〇日	後光厳天皇口宣案	宍安元年 十二月	載① 189	史三 陵三 平六
121	△一二月二三日	三条公忠勘返案	何事御程 候哉抑	帯③ 212	抄三
120	△一〇月九日	中御門宣方書状	寺務事初 度之長	載① 184	尊一
119	◎一〇月三日	藤氏長者宣	彼長者宣 僞以權	載① 183	尊一
118	◎一〇月三日	藤氏長者宣	彼長者宣 僞以權	載① 183	尊一
117	◎一〇月三日	藤氏長者宣	彼長者宣 僞以權	載① 183	尊一
116	◎七月二六日	延暦寺政所集会僉議事書	宍安元年 七月廿	載① 180	尊一 抄一
115	△七月二六日	後光厳天皇繪旨	山門訴訟 間事被	載① 179	尊一 抄一
114					
113	○正月一六日	今出川公直踏歌節会記	祝言獻事 候了事	帯③ 214	抄三
112	△(正月一日)	三条公忠書状案	祝言獻事 候了事	帯③ 214	抄三
111	△(正月一六日)	今出川公直石大将拜賀散状	十六日雨 降丑刻	載① 192	壬一 陵三 平六
110					
109	◎三月二八日	柳原忠光申文	右大將拜 賀散状	載① 194	史三 陵三 平六
108	△四月二一日	二条良基書状	從七位上 漢人宿	載① 199	史三 陵三 平六 抄二
107	△四月二一日	後光厳天皇書状	昨日神興 入洛の儀	載① 203	史三 陵三 平六
106	△七月一九日	足利義滿申詞	昨日儀凡 言語道	載① 203	史三 陵三 平六
105	△七月二〇日	後光厳天皇勅答	就山門駭 訴事日	載① 204	史三 陵三 平六
104	△七月二一日	後光厳天皇繪旨	山門訴訟 事被聞	載① 205	史三 陵三 平六
103	△七月二二日	後光厳天皇繪旨	山門訴訟 事七社	載① 205	史三 陵三 平六 抄一
102	△一〇月二八日	後光厳天皇繪旨	法勝寺領 但馬國	背③ 217	史二九
101	△一二月二二日	家広書状	去月廿二 日御教	背③ 234	壬四
100	△一二月七日	後光厳天皇繪旨	法勝寺領 但馬國	背③ 221	壬六
99	△一二月一三日	三条実継書状	昨日委細 仰恐悅	帯③ 215	史一九 陵二 平二二 抄三
98	○一二月一三日	三条公忠勘返案	条々一装 束事袍	帯③ 216	史一九 陵二 平二二 抄三
97	○一二月一九日	三条実継書状	其後關筆 候何条	帯③ 218	抄三 陵二 平二二 勅九
96	△一二月一九日	三条実継書状	只今欲進 此状候	帯③ 219	壬六 陵二 平二二 抄三
95	○一二月二〇日	三条公忠書状案	条々委細 奉了委細	帯③ 219	壬六 陵二 平二二 抄三
94	△一二月二六日	三条実継書状	切々申承 候つる	帯③ 221	抄三 陵二 平二二 勅九

150 △(二月二六日)	三条公忠書狀案	簡：一宿申 人数	帶◎ 222	壬四 陵一五平二三
応安二年紙背青年未詳				
151 正月一四日	某書狀	賀年御慶 賀珍重	背◎ 211	史三
152	某書狀	神輿入浴 今日必	背◎ 211	史三
応安三年				
153 △正月一〇日	三条実音書狀	祝言猶々 不可有	背◎ 224	壬四 抄三
154 ○正月一四日	後光厳天皇書狀	夜前大納 言拜賀	参◎ 94	抄三
155 △正月一五日	俊祐書狀	修正勅行 御卷数	背◎ 232	壬四
156 △(正月一六日)	三条実繼内大臣拜賀散狀	内府拜賀 愿従人	載◎ 216	史四 陵四 平七 抄一・三
157 ○正月一六日	三条実繼書狀	今日必定 之由存	帶◎ 225	史一九 陵一五平二三 抄三
158 △(正月一六日)	三条公忠書狀案	御拜賀今 日必定	帶◎ 226	史二 陵一五平二三 抄三 勅九
159 ○正月一六日	三条実音書狀	今夜内府 拜賀繼	帶◎ 231	壬六 抄三
160 △(正月一六日)	三条公忠書狀案	納言兄 如仰此間	帶◎ 232	壬四 陵二二 抄三
161 ○正月一八日	三条実音書狀	連々申 極大納	帶◎ 233	壬五 抄三
162 ◎正月三〇日	後光厳天皇宣旨	正二位行 果遂候	載◎ 7	陵五 平八
163 △(正月)	三条実繼書狀	柳原忠光書狀	背◎ 228	抄三
164 △(正月)	三条公忠書狀案	新年吉兆 最前申	帶◎ 229	諸
165 △(正月)	勘例(後徳記)	上抑外弁 兄弟礼節	帶◎ 230	諸
166 △(正月)	三条実繼書狀	此間又相 積之様	帶◎ 234	壬四 陵二二平二四 抄三
167 ○二月二九日	三条実繼書狀	御直衣始 可為今	帶◎ 235	抄三
168 △(二月二九日)	三条公忠書狀案		帶◎ 236	抄三
169 ○三月二日	後光厳天皇繪旨	法勝寺領 但馬國	背◎ 242	史一〇
170 △三月三日	三条実繼書狀	一昨目委 細御報	帶◎ 237	抄三
171 ◎三月一六日	後光厳天皇宣命	天皇我詔 旨止勅	載◎ 220	史四 陵四 平七 抄三
172 ◎三月二五日	大宮実尚申文	從七位上 五百木	載◎ 222	史四 陵四 平七 抄一・二
173 ○四月一日	勸修寺経頭書狀	丞相事可 預御免	帶◎ 239	諸
174 △四月一日	三条公忠書狀案	芳札之旨 喜奉了	載◎ 240	史四 陵四 平七 抄一・三
175 ○四月二三日	勸修寺経頭事書	拜賀事直 衣始事	帶◎ 240	諸
176 △(四月二三日)	三条公忠返答案	条々一所 々臨事	帶◎ 241	史一〇 諸
177 ○四月一六日	勸修寺経頭事書	一所々座 端事	帶◎ 243	諸
178 ○四月二五日	勸修寺経頭事書	地下諸大 夫書札	帶◎ 244	諸
179 △(四月二五日)	三条公忠返答案	一地下諸 大夫書	帶◎ 244	諸
180 ○六月二日	勸修寺経頭事書	下文事官 外記対	帶◎ 245	諸
181 △(六月二日)	三条公忠返答案	下文事加 袖判於	帶◎ 246	諸
182 △六月二八日	三条公忠書狀案	講月御入 來直衛	帶◎ 270	抄三 陵一五平二八
183 △(六月)	三条公忠勸例案	条々一正 和年中	帶◎ 270	抄三 陵一五平二八
184 △七月(七日)	三善輔衛請文	御入講所 役間事	帶◎ 272	抄三 陵一五平二八
185 △(八月)	三条実繼書狀	重事等無 余日候	参◎ 92	抄三
186 ◎一二月二九日	後光厳天皇宣旨	前大僧正 法印大	載◎ 7	陵五 平八

応安三年紙背年未詳

187 家広書状懸紙 進上馬守殿左 背② 227 史二

応安四年

188 ◎正月五日 叙位聞書 執筆大納言実守 背① 96 陵一九

189 ◎正月七日 中原師茂白馬節会記 応安四年正月七日 載③ 3 陵五 平八

190 ◎正月一四日 除目聞書 参議藤原公兼兼 背① 98 陵一九

191 △(正月一六日) 中原師香注送踏歌節会散状 踏歌節会公卿右 載② 5 陵五 平八

192 ◎正月一九日 後光厳天皇繪旨 家門并家領以下 載① 9 陵五 平八

193 ◎正月一九日 後光厳天皇繪旨 左馬寮丹後国各衆僧一座 載① 9 陵五 平八

194 △(正月) 勘例 宣旨例 載① 8 抄四 陵五 平八

195 △(二月三〇日) 後光厳天皇勅問事書 一御元服事今度 載① 11 陵五 平八

196 △(二月三〇日) 三条公忠申詞 御元服事期日以 載① 12 陵五 平八

197 ○三月二二日 勸修寺経頭事書 下襲尻寸法事同 帶③ 247 諸

198 △(三月二二日) 三条公忠返答案 一御袍文事契地 帶③ 247 諸

199 ◎三月二三日 三条実音儲君元服記 応安四年三月廿 載① 15 陵五 平八

200 ◎三月二三日 中原師香儲君元服記 応安四年三月廿 載① 16 陵五 平八

201 ○三月二三日 柳原仙洞指図 (図) 帶③ 273 史二 平二五

202 ◎三月 日 後光厳天皇讓位宣命草 現神度大八洲所 載① 23 陵五 平八

203 ○閏三月三日 勸修寺経頭事書 袍文事夏冬可為 帶③ 248 諸

204 ○閏三月九日 三条公忠折紙案 御袍文事何様治 帶③ 249 諸

205 △(閏三月九日) 三条公忠書状案 此間連々中奉候 帶③ 249 諸

206 △閏三月九日 勸修寺経頭事書 不審事等雖其恐 帶③ 261 諸

207 ○閏三月一〇日 勸修寺経頭事書 袍文事直衣文事 帶③ 249 諸

208 △(閏三月一〇日) 三条公忠返答案 御袍文事夏冬同 帶③ 250 諸

209 ○閏三月一四日 三条公忠書状 良久不申奉之様 帶③ 281 史二 陵一八 平二三

210 ○閏三月一五日 勸修寺経頭事書 袍文事夏半管欄 帶③ 251 諸

211 ○閏三月一五日 三条公忠返答案 御袍事案文不可 帶③ 252 諸

212 ○閏三月二五日 勸修寺経頭事書 碓并脇息本様事 帶③ 255 諸

213 △(閏三月二五日) 三条公忠返答案 一所々座事次第 帶③ 256 諸

214 △(閏三月二七日) 三条公忠書状 人夫召進候小夫 背① 261 史二 諸

215 △(閏三月) 三条公忠書状 此間不申何条御 帶③ 284 諸

216 △(閏三月) 三条実繼勘返 此間誠恐禮候仰 帶③ 284 諸

217 ○四月二日 洞院公定書状 硯筆墨事 帶③ 258 諸

218 △(四月二日) 三条公忠返答案 客亨硯事瓦硯之 帶③ 258 史一 諸

219 ◎四月五日 悪党人交名 注進悪党人等交 載① 42 史二 陵六 平一三

220 △四月一〇日 八幡宮社務梁清注進状 当宮悪党人等乱 載① 40 陵六 平一八

221 ◎四月一四日 祭除目聞書 權少外記中原師 載① 99 陵一九

222	◎四月 日	八幡宮寺所司解状	八幡宮寺所司等	載	◎41	史二(一)聖者(一) 陵六・一三 平一八
223	△五月三日	三条実音書状	其内恐 案八幡宮	帶	◎276	史二七 平二八
224	△(五月五日)	洞院公定軒廊御卜記	穢氣事	載	◎33	陵五 平八
225	◎五月五日	吉田兼熙卜文	神祇事 吉凶事	載	◎33	陵五 平八
226	◎五月五日	賀茂在弘占文	陰陽寮占 石清水	載	◎34	陵五 平八
227	△(五月七日)	二条良基勘文	老人拜事 松殿入	帶	◎267	略 陵五 平八
228	○五月一〇日	三条公忠書状	此間不申 奉之様	帶	◎278	抄三 抄三 陵五 平八
229	△五月一三日	中原師茂勘例	兩条一八 幡宮可	載	◎54	陵一三平一八
230	◎五月一三日	中原師香勘例	勘申八幡 宮造替	載	◎63	陵六・一三 平一八
231	◎五月一三日	清原宗季勘例	勘申石清 水八幡	載	◎70	陵六・一三 平一八
232	△五月一三日	壬生兼治勘例	幡宮保	載	◎72	陵六・一三 平一八
233	◎五月一三日	大宮光夏勘例	石清水八 幡宮造	載	◎85	陵一三平一八
234	○五月一九日	二条良基申詞	八幡宮造 替条々	載	◎43	陵一三平一八
235	△(五月一九日)	三条実継申詞	八幡宮造 替条々	載	◎44	陵一三平一八
236	△(五月一九日)	洞院実守申詞	八幡宮造 替条々	載	◎45	陵一三平一八
237	△(五月一九日)	三条実音申詞	八幡宮造 替条々	載	◎47	陵一三平一八
238	△(五月一九日)	久我具通申詞	八幡宮造 替条々	載	◎48	陵一三平一八
239	△(五月一九日)	柳原忠光申詞	八幡宮造 替条々	載	◎49	陵一三平一八
240	△(五月一九日)	中院通氏申詞	八幡宮造 替条々	載	◎50	陵一三平一八
241	△(五月一九日)	三条公時申詞	八幡宮造 替条々	載	◎51	陵一三平一八
242	△(五月一十九日)	万里小路嗣房申詞	八幡宮造 替条々	載	◎53	陵一三平一八
243	△五月二〇日	三条公忠書状	夜前殿上 定御参	背	◎95	史二一
244	△(五月二三日)	洞院公定書状	巨細之仰 畏奉了	帶	◎285	抄三 抄三 史二二 陵一六平二七
245	△(五月)	三条実継勘例	実宣卿記 承元二	帶	◎279	抄三 抄三 陵一三平一八
246	◎六月五日	中原章世勘文	勘申石清 水八幡	載	◎89	陵一三平一八
247	○六月八日	勸修寺経頭書状	經重文車 物見外	帶	◎261	略
248	△(六月八日)	三条公忠書状案	彼文御車 物見給	帶	◎262	略
249	△六月一五日	勸修寺経頭書状	直衣出仕 事触遣	帶	◎262	略
250	△(六月一五日)	三条公忠返答案	御直衣事 一通加	帶	◎262	略
251	△六月二〇日	勸修寺経頭書状	何条御事 候哉抑	帶	◎263	略
252	△(六月二〇日)	三条公忠返答案	来廿四日 御直衣	帶	◎263	略
253	△(六月二〇日)	中原師茂書状	おほせく たし候	帶	◎263	略
254	○六月二一日	中原師香書状	昨日申し たし候	帶	◎264	史二九(仁平元) 平三二
255	○六月二二日	勸修寺経頭書状	着殿上	帶	◎265	略
256	△六月二三日	勸修寺経頭書状	直衣始明 後日必	帶	◎266	略
257	△(六月二三日)	三条公忠書状案	喜承候了 御直衣	帶	◎266	略
258	△(六月)	洞院公定書状	此間抑 殿上定	帶	◎286	略
259	△一〇月三日	三条公忠返状旨趣				
260	△(一〇月)	後光嚴上皇院宣	一任官叙 位難訴	載	◎221	史二七 平一二
261	◎一〇月五日	院宣廻文	一通如 記大外	載	◎221	史二七 平一二

262	△(一月)	洞院公定書狀	御札承候 候出仕	帶③288	史一八	平二五	281	○四月八日	洞院公定書狀	先日預賞 札候之	帶③295	史一八	平二五
263	△(二月六日)	洞院公定書狀	畏承候 畏承入	帶③289	史一八	平二五	282	△(二月九日)	興心書狀	一日進引 一尺令	背③298	史一八	平二五
264	△(二月九日)	洞院公定書狀	先日不貽 中心及	帶③290	史一八	平二五	283	△(二月九日)	勸修寺経頭事書	採色事見 文車物見	帶③297	史一八	平二五
265	△(二月二十五日)	洞院公定書狀	巨細之旨 畏承候	帶③291	史一八	平二五	284	○(二月二十四日)	三条公忠勘返案	延久為房 記四衛	帶③299	史一八	平二五
<p>應安四年紙背青年未詳</p>													
266		某書狀	一日おも ひより	背③93	史二一		285	△	洞院公定カ事書	一神木在 浴之間	帶③293	史二三	平二四
267		某書狀	昨日はち と人に	背③93	史二一		<p>應安五年紙背青年未詳</p>						
268		某書狀	さいさい に甲入	背③94	史二一		286		三条公忠書狀案	祝詞最前 向貴方	背④87	壬四	
269		某書狀	ちほちほ くし物	背③94	史二一		<p>應安六年</p>						
270		某書狀	よくよく 申たく	背③94	史二一		287	△(二月二十四日)	安楽光院見月カ書狀	歌事申入 候之処	背③302	史二三	
271	<p>應安五年</p>	三条公忠書狀案	其後何条 事等御	背③283	史二〇		288	○(三月七日)	三条実継書狀	一昨日貴 報散	帶③302	史二三	平二七
272	◎(正月二二日)	太政官符	太政官符 治部省	載③104	抄一 陵七	平九	289	△(三月)	三条公忠勘返案	兼又不 審事出	帶③301	史二三	平二七
273	◎(正月二二日)	太政官符	太政官符 伊豆国	載③105	抄一 陵七	平九	290	○(四月一日)	三条実音書狀	其後恐懼 之間欲	帶③304	史一九	勸九
274	(正月二二日)	太政官符	太政官符 安房国	載③105	抄一 陵七	平九	291	△(九月)	中原師茂勘例	大風例事 光孝天	載③122	史六	平一〇
275	(正月二二日)	太政官符	太政官符 常陸国	載③106	壬四 陵七	平九	292	△(一月四日)	毘沙門堂実尊書狀	禪師所勞 事委細	背③135	史六	
276	△(正月二二日)	流入交名	一乘院門 主実	載③107	壬四 抄一	平九	293	◎(一月二五日)	小除日聞書	参議源義 満勲功	背③137	史六	
277	△(一月一日)	洞院公定書狀	月朔珍重 候旁可	帶③292	史一八	平二五	294	○(二月二日)	三条公忠返答案	経重問応 安六十	帶③305	史一八	平二五
278	△(二月二日)	洞院公定書狀	此間自是 可啓上	帶③294	史二三		<p>應安六年紙背青年未詳</p>						
279	○(二月二日)	洞院公定勘例(冬平公記)	正和三年 七月六	背③295	史二三		295	四月一日	三条公忠書狀案	宝篋院前 裁之時	背③133	史五	
280	◎(四月一日)	安倍守経安倍親宣密奏案	去正月廿 六日乙	載③109	陵七	平九	296	四月一日	某書狀	彼一巻事 無相違	背③137	史六	
<p>297 五月七日 三条実音書狀 任官事口 宣案三 背③136 史六</p>													

298	五月	三条実音書状	任管事即尊札之	背① 136	134 史六	尊二 (可被宣)	陵八 平二
299	一〇月三日	二条為遠書状断簡	「」十月三日為	背① 136	史六		陵八 平二
300	一一月二三日	某書状	当寺小仏事執行	背③ 306	史二八		陵八 平二
301		三条公忠書状	此間又何条候事	背① 133	史二〇		陵八 平二
302		某勘返					
303		某書状	畏奉候了無指事	背① 134	尊二		陵八 平二
304		某書状	細々可言上之由	背① 134	尊二		陵八 平二
304		二条為遠書状	畏承候了其後又	背① 135	史六		陵八 平二
305		詩稿添削	禪定仙院成正覚	背① 137	史六		陵八 平二
応安七年							
306	△正月三日	後円融天皇宣下状	從二位藤原実遠	載① 141			陵八 平二
307	△正月一六日	三条公忠書状案	実冬二品事畏申	載① 141			陵八 平二
308	△正月二九日	後円融天皇綸旨	御中陰間為御籠	載① 152			陵八 平二
309	△二月一日	上乘院経深請文	御中陰間於旧院	載① 153			陵八 平二
310	△二月一日	後円融天皇綸旨	御中陰間於旧院	載① 154			陵八 平二
311	△二月一日	上乘院経深請文	御中陰間於旧院	載① 154			陵八 平二
312	△二月	後光厳院葬礼中陰三条実音注送記	行次亦自西面上	載① 145			陵八 平二
313	△二月	後光厳院中陰三条実音注送記	素服人数内親王	載① 148	抄一		陵八 平二
314	△三月	上乘院経深記	後光厳院御中陰	載① 152			陵八 平二
315	△三月一八日	三条実継書状	誦讀賜了文章	載① 169			陵八 平二
316	◎九月二八日	除目聞書	権大納言藤原経	載① 177			陵八 平二
317	◎一〇月二六日	三条公忠書状	何事御程候哉	帶④ 2	史三二陵一六平二七		陵八 平二
318	◎一一月四日	三条公忠書状	此間令辦怠候恐	帶④ 1	史三二陵一六平二七		陵八 平二
319	◎一一月	興福寺字侶衆徒群議事書	神訴徒送四載之	載④ 88	壬四		陵八 平二
320	△一一月	興福寺字侶衆徒群議事書	神訴篇々可有御	載④ 88	壬四		陵八 平二
321	◎一一月二二日	中原師茂書状	このほと	帶④ 8	史二五 (平二二)		陵八 平二
322	△(一一月二二日)	中原師茂勘例	三位中将叙二品	帶④ 9	史二九 平二〇		陵八 平二
323	◎一一月二九日	三条実継書状	此間又恐	帶④ 3	史三三陵一六平二七		陵八 平二
324	◎一一月二九日	三条実継諮問条々	文事条々	帶④ 4	史三三陵一六平二七		陵八 平二
325	◎一一月三〇日	三条公忠勘返案	細方間為悦候	帶④ 3	史三二陵一六平二七		陵八 平二
326	◎一一月二二日	三条実継勘返	先度貴報恐悦候	帶④ 5	史三二陵一六平二七		陵八 平二
327	◎一一月二二日	三条実継書状	何事御程候哉	帶④ 5	史三二陵一六平二七		陵八 平二
328	△(一一月)	今出川実直事書返答状	一神木掃坐供奉	載① 182	史七		陵八 平二
329	△(一一月)	後円融天皇即位職掌人散状	御即位職掌人内	載① 189	柳一		陵八 平二
330	△(一一月)	中原師茂書状	「」今度御即位	背④ 34	史三〇		陵八 平二

応安七年紙背年未詳

永和元年(応安八年二月二十七日改元)

331	十一月四日	三条公忠訴状	後白河院 法華堂	背四 89	壬四
332	正月一日	洞院公定書状	祝言誠雖 事旧候	帶四 10	史二四 平二六
333	正月四日	洞院公定書状	祝言猶々 不可有	帶四 11	史二四 平二六
334	正月九日	三条実継書状	如仰今春 祝言度	帶四 6	史三陵一六平二七
335	正月一〇日	洞院公定書状	先日人夫 事失面	帶四 12	史二四 平二六
336	正月二日	三条公忠書状	先日委細 御返事	帶四 7	史三陵一六平二七
337	正月三日	洞院公定書状	さてハ只 今此御	帶四 13	史二四 平二六
338	正月三日	三条公忠書状案	從是令申 候了潜	帶四 14	史二三 平二四
339	正月二九日	中原師香書状	せくと 一日おほ	帶四 16	史一九 平二三
340	二月一日	三条実継書状	今朝委細 貴報恐	帶四 24	史二〇陵一八平二三 抄三
341	二月一日	三条公忠書状案	委細示給 候恐悦	帶四 25	史二〇陵一八平二三 抄三
342	二月二四日	後円融天皇口宣案	応安八年 二月廿	帶四 28	史二三 平二四
343	二月二四日	口宣送状	口宣一紙 献上之	帶四 28	史二三 平二四
344	二月二六日	大宮実尚書状	伊禱之廻 喜承候	帶四 17	史一七陵一二平二八 抄三
345	二月	三条実継書状	さても丞 相共散	帶四 21	抄三
346	二月	三条実継書状	先日思問 恐悦候	帶四 22	史二〇陵一八平二三 抄三
347	二月	三条公忠書状案	此一兩日 自是欲	帶四 22	史二〇陵一八平二三 抄三
348	二月	三条実継書状	昨日欲進 此状候	帶四 23	史二〇陵一八平二三 抄三
349	三月一日	中原師茂書状	仰旨謹奉 候了	帶四 28	史二三 平二四

永和二年

350	三月二日	洞院公定書状	此際恐稱 候旁可	帶四 19	史二四 平二六
351	十一月四日	中原師茂書状	かしこま り候て	帶四 20	史二五 平二八
352	十一月五日	後円融天皇諭旨	可有任 来十八日	載 100	柳二 史料館
353	十一月五日	三条実冬請文	可有任 可有任	載 100	柳二 史料館
354	十一月八日	三条実冬書状案	今夜任大 臣節会	載 101	柳二 史料館
355	十一月八日	中原師茂請文	今夜任大 臣節会	載 101	柳二 史料館
356	十一月八日	三条実冬書状案	今夜任大 臣節会	載 101	柳二 史料館
357	十一月八日	壬生兼治請文	今夜任大 臣節会	載 102	柳二 史料館
358	十一月八日	三条実冬書状案	今夜任大 臣節会	載 102	柳二 史料館
359	十一月八日	後円融天皇宣命	天皇我詔 旨上勅	載 107	柳二 史料館
360	十一月二七日	三条実継書状	左藤巻原 候明春	載 214	平二二 抄四
361	〇	某書状	先日「 知音候	帶四 18	抄三
362	〇	勤例(禪太記)	安貞二年 四月廿	背四 26	史二〇 抄三 平二三
363	〇	三条実継書状	委細御報 恐悦候	帶四 27	史二一 抄三
364	〇	某書状	祝言重畳 申籠候	背四 15	史二三
365	〇	懸紙	上給法眼 御房	背四 23	史二〇
366	〇	かいせう書状	これへひ ま候へ	背四 25	史二〇
367	〇	大宮実尚書状	御呈三帖 様送預	帶四 26	史二〇陵一八平二三 抄九
368	〇	三条公忠書状案	吉茂庄の 事に付	背四 29	史二三
369	〇	九条忠基関白拜賀散状			

370	△正月七日	三条実継書状	賀白御 <small>賀白御</small> 賀公卿 <small>賀公卿</small> 年首御慶 <small>年首御慶</small> 雖申儀 <small>雖申儀</small>	載② 215	史二六	平一二	388	○一二月二二日	三条公忠書状	此問御計 <small>此問御計</small> 會察申 <small>會察申</small>	載② 222	史二七	平一二
371	△(正月二二日)	後門融天皇勅問	廻御 <small>廻御</small> 御三 <small>御三</small> 今度御八 <small>今度御八</small> 講可為 <small>講可為</small>	載② 196	史二七	平一二	389	一二月八日	毘沙門堂明円書状	如仰先度 <small>如仰先度</small> 之參不 <small>之參不</small>	背② 223	史二七	平一二
372	△(正月)	二条良基申詞		載② 194		平一二	永和三年						
373	△(正月)	九条経教九条忠基申詞	於安樂光 <small>於安樂光</small> 院可被 <small>院可被</small>	載② 195		平一二	390	△正月九日	吉田兼照書状	御慶公私 <small>御慶公私</small> 不可有 <small>不可有</small>	載② 227	史二七	平一二
374	△(正月)	近衛道嗣申詞	安樂光院 <small>安樂光院</small> 御八講 <small>御八講</small>	載② 195		平一二	391	△正月一〇日	近衛道嗣書状	祝言難 <small>祝言難</small> 事旧候 <small>事旧候</small>	載② 226	史二七	平一二
375	△(正月)	西園寺実俊申詞	非禁中為 <small>非禁中為</small> 禁裏御 <small>禁裏御</small>	載② 195		平一二	392	◎正月一三日	吉田兼照注進状	注進儀事 <small>注進儀事</small> 神紙式 <small>神紙式</small>	載② 227	史二七	平一二
376	△(正月)	三条実継申詞	宸筆御事 <small>宸筆御事</small> 御八講 <small>御八講</small> 証義者權 <small>証義者權</small> 僧正寺 <small>僧正寺</small>	載② 195		平一二	393	△正月一三日	吉田兼照注進状	武家産職 <small>武家産職</small> 事一紙 <small>事一紙</small>	載② 228	史二七	平一二
377	△(正月二四日)	安樂光院御八講僧名	一日御文 <small>一日御文</small> を給下 <small>を給下</small>	載② 196		平一二	394	△正月一三日	卜部兼遠注進状	武家産可 <small>武家産可</small> 為天下 <small>為天下</small>	載② 228	史二七	平一二
378	○二月七日	中原師茂書状	長候 <small>長候</small> けたま <small>けたま</small>	載② 30	史二五	平二八	395	△(正月一三日)	卜部兼遠勘例	間五月 <small>間五月</small>	載② 229	史二五	平二八
379	△(二月一日)	中原師香書状	候除 <small>候除</small>	載② 217	史二六	平一二	396	◎正月二九日	後門融天皇勅願願文章	蓋開女黃 <small>蓋開女黃</small> 分形仰 <small>分形仰</small>	載② 231	史二六	平一二
380	△(二月一四日)	三条公忠書状	何事御程 <small>何事御程</small>	載② 197	史二六	平一二	397	△(二月一日)	三条実継書状	誠此問恐 <small>誠此問恐</small> 舊候 <small>舊候</small>	載② 233	史二六	平一二
381	○三月二四日	舞御覽所作人交名	舞御覽公 <small>舞御覽公</small> 卿室前 <small>卿室前</small>	載② 198	史二六	平一二	398	○二月四日	三条実継書状	御礼香承 <small>御礼香承</small> 一昨 <small>一昨</small>	載② 232	史二六	平一二
382	△六月三日	後門融天皇繪旨	今月中 <small>今月中</small> 今夕和歌 <small>今夕和歌</small> 事承候 <small>事承候</small>	載② 201	壬六	平一二	399	△(三月二八日)	三条公忠書状	曲尊報 <small>曲尊報</small>	載② 238	史二六	平一二
383	○七月八日	三条実継書状	公卿西 <small>公卿西</small> 終日風始 <small>終日風始</small>	載② 201	史二六	平一二	400	○一〇月二八日	三条公忠書状	久我具通書状 <small>久我具通書状</small> 久御下 <small>久御下</small>	載② 231	史二八	平二八
384	○七月八日	七僧法会散状	七僧法会 <small>七僧法会</small>	載② 203	史二七	平一二	401	△一〇月二九日	久我具通書状	示承候 <small>示承候</small>	帶④ 32	史二八	平二八
385	△(七月)	三条公忠書状		載② 219	史二七	平一二	永和三年紙背年未詳						
386	△閏七月一六日	洞院公定書状	恐禱候 <small>恐禱候</small> 仰旨先 <small>仰旨先</small>	載② 202	史二六	平一二	402	一〇月八日	兼□書状	如何可 <small>如何可</small>	背④ 32	史二八	平一二
387	△(八月)	中原師香書状	この程 <small>この程</small> 申あげ <small>申あげ</small>	載② 220	史二七	平一二							

永和四年

403	△正月六日	洞院公定書狀	年首吉慶 等最前 <small>ノ</small>	載②252	史八	勅一三
404	△(正月二五日)	御八講僧名	安樂光院 御八講 <small>ノ</small>	載②254	史八	勅一三
405	○二月四日	三条実繼書狀	其後誠積 舊候処 <small>ノ</small>	載②256	史八	勅一三
406	△三月六日	洞院公定書狀	誠細々可 言上之 <small>ノ</small>	載②257	史八	勅一三
407	○三月二三日	近衛道嗣書狀	自夜前被 始行果 <small>ノ</small>	載②260	史八	勅一三
408	△(三月)	近衛道嗣書狀	息子二合 申文不 <small>ノ</small>	載②263	史八	勅一三
409	△八月二九日	一条公勝書狀	一昨夜任 檢節会 <small>ノ</small>	載②270	史八	勅一三
410	△(八月)	三条公忠筆勘例写	前一閣上首 前大將 <small>ノ</small>	帶④33	史三〇	平二〇
411	△(八月)	三条公忠筆勘例写	前官大將 閣当職 <small>ノ</small>	帶④34	史三〇	平二〇
412	○九月四日	洞院公定書狀	御前辺何 御前事 <small>ノ</small>	載②271	史八	勅一三
413	△九月一六日	徳大寺実時書狀	先日芳問 之旨恐 <small>ノ</small>	背⑤64	史九	勅一三
414	○九月二二日	二条良基問題事書	条々一拜 賀之時 <small>ノ</small>	帶④36	史九	勅一三
415	○九月二二日	三条実繼返答事書	条々一拜 賀之時 <small>ノ</small>	帶④38	史九	勅一三
416	△(九月)	中原師香書狀	又申あけ 候他所 <small>ノ</small>	背④37	史九	勅一三
417	△(九月)	中原師香書狀	この程ハ 申あけ <small>ノ</small>	背④39	史九	勅一三
418	○一〇月一六日	五壇法僧名	五壇法中 檀青進 <small>ノ</small>	載②274	史八	勅一三
419	◎一〇月二五日	三社奉幣使記	永和四年 十月廿 <small>ノ</small>	載②274	史八	勅一三
420	◎一一月一六日	後円融天皇勅書	伝直示单 勅之宗 <small>ノ</small>	載②277	史八	勅一三
421	○(一一月)	中原師香書狀	一日師胤 の時御 <small>ノ</small>	載②275	史八	勅一三
422	○一一月二五日	中原師香書狀	第一江次 巻 <small>ノ</small>	載②276	史八	勅一三

康曆元年 (永和五年三月二十三日改元)

423	△(一一月五日)	三条公忠書狀案	無差事候 問自是 <small>ノ</small>	載②278	史八	勅一三
永和四年紙背年未詳						
424		家□書狀懸紙	前中務權 大輪殿 <small>ノ</small>	背②281	史八	
425		柳原忠光書狀	畏承了此 亦近日 <small>ノ</small>	背④35	史三〇	
康曆元年 (永和五年三月二十三日改元)						
426	△正月一日	三条実繼書狀	御慶雖事 旧候今 <small>ノ</small>	帶④41	抄四	
427	△二月一七日	毘沙門堂明円書狀	畏口候了 抑 <small>ノ</small>	帶④42	抄四	
428	△三月二二日	改元定散狀	改元定公 卿久我 <small>ノ</small>	載②10	史二九	勅一三
429	◎三月二七日	後円融天皇口宣案	康曆元年 三月廿 <small>ノ</small>	載②13	史二九	勅一三
430	△(閏四月三日)	中原師香書狀	御文畏て 奉候ぬ <small>ノ</small>	載②15	抄四	
431	◎閏四月三日	後円融天皇口宣案	康曆元年 閏四月 <small>ノ</small>	帶④42	史二九	勅一三
432	△閏四月三日	口宣送狀	口宣一紙 獻之早 <small>ノ</small>	帶④42	史二九	勅一三
永徳元年 (康曆三年二月二十四日改元)						
433	△七月六日	足利義滿書狀	先立通定 卿昇進 <small>ノ</small>	載②22	史九	勅一三
434	△七月一五日	三条実繼書狀	頃日東山 墳墓參 <small>ノ</small>	載②25	史九	勅一三
435	△七月二二日	三条公忠書狀	久安記返 進之候 <small>ノ</small>	載②27	史九	勅一三
436	△七月二二日	三条実繼書狀	如仰教返 申承候 <small>ノ</small>	載②28	史九	勅一三
437	○七月二六日	足利義滿直衣始散狀	公卿洞院 大納言 <small>ノ</small>	載②30	史九	勅一三
438	○七月二七日	三条公忠書狀	明日出立 未足超 <small>ノ</small>	載②33	史九	勅一三
439	△(七月)	三条実繼書狀	昨日物進 取候思 <small>ノ</small>	載②26	史九	勅一三

440 △(七月)	三条実継書状	天狗説不 足信用	載 29	史九	陵一四平一五	459	八月四日	德大寺実時書状	「承及 候如何」 うらかせ ののと	背 62	史九
441 △(七月)	勅例(野槐記)	野槐記嘉 禄二年	載 29	史九	陵一四平一五	460		題詠和歌	たとひ御 しやり	背 58	史九
442 △(七月)	高橋長職書状	かしこま り候て	背 61	史九		461		某書状	きくさと はかう	背 59	史九
443 △(七月)	三善基統書状	畏てうけ 給候ぬ	背 63	史九		462		実円カ書状	「謙言 一条宰」	背 63	史九
444 △(七月)	三条公忠書状	実冬昇進 の事大	背 59	史九		463		三条公忠書状断簡	かりきぬ 御よろ	背 64	史九
445 △(八月)	三条実継書状	此両神 ハ心神	背 63	史九		464		実□書状	人夫返上 候殊以	背 65	史九
446 △(八月)	中原師香書状	畏てうけ たまハ	背 61	史九		465		三条公忠書状	手本給ハ り候ぬ	背 66	壬四
447 △(八月)	某書状	恐懼之間 從是欲	背 62	史九		466		三条実継勅返	此間不申 恐懼候	帶 44	平二八
448 △(八月一五日)	禁裏御会散状	十五夜和 歌御会	載 37	壬五	陵一四平一五	467 △(三月二四日)	永徳二年	德大寺実時書状	朝日行幸 必定期	載 70	抄四
449 △(八月一六日)	四辻善成書状	誠久不申 承繼々々	背 60	史九		468 △(四月二二日)		中原師香書状	御幸始公 卿撰政	帶 49	子一九
450 △(八月一六日)	三条実冬書状	「進候 榻ハ不候	背 60	史九		469 ○(四月二八日)		御幸始散状	台盤所簡 人數典	載 71	抄四
451 △(八月)	三条実継書状	喜承候了 十五夜	載 38	壬五	陵一四平一五	470 △(四月)		台盤所簡人數	此問又關 筆之様	載 78	抄四
452 ○(九月四日)	後円融天皇口宣案	永徳元年 九月四	載 43	史九	陵一四平一五	471 △(五月四日)		洞院公定書状	昨日参社 頭入夜	帶 46	子一九
453 △(九月四日)	口宣送状	口宣一紙 奉之早	載 42	史九	陵一四平一五	472 ○(八月九日)		吉田兼熙書状	此問旁 畏承候了	帶 44	陵一四平一五
454 ○(九月五日)	後円融天皇宣旨	從一位藤 原朝臣	載 43	史九	陵一四平一五	473 △(九月八日)		三条実継書状	委曲思	載 79	抄四
455 △(一二月二日)	等持寺法華八講僧名	八講証 等持寺御	載 53	壬二	陵一四平一五	474 △(九月八日)		三条公忠書状案	後小松天皇即位儀参仕治定人	載 83	抄四
456 △(一二月五日)	一条公勝書状	昨日者及 香罷婦	載 48	京大狩野菟集文書		475 △(一〇月二五日)		後小松天皇即位儀参仕治定人	御即位内 弁左大	載 86	柳一 三条本御即位記
457 ○(一二月)	三条実継書状	如仰寒氣 手こ	載 49	壬五	陵一四平一五	476 ○(一二月八日)		即位日時勘文	陰陽寮 御即位	載 86	柳一 三条本御即位記
458 ○(一二月)	毘沙門堂明円勘例	七仏薬師 前蹤事	載 50	壬二	陵一四平一五						

495 △(正月六日)	494 △(正月六日)	493 △(正月六日)	492 ◎正月五日	491 △正月二日	490 △(正月一日)	489	488	487	486	485	484	483 △	482 △	481 ○一二月二九日	480 △一二月二八日	479 △一二月二一日	478 △一二月一〇日	477 ◎一二月八日		
三条実継事書	三条公忠書状案	三条実継書状	叙位聞書	一条公勝書状	元日節会散状	某書状	某書状	某書状	某書状	某書状	某書状	洞院公定書状	三条実継書状	二条良基書状	後小松天皇即位職掌人散状	中原師香書状	中原師香書状	後小松天皇口宣案		
無品親々 候了趣 折紙一見	候了趣 折紙一見	祝言度々 事旧候々	正二位藤 原教言々	「左大 臣右大」	元日節会 公卿内々	大儀無為 誠珍重々	一条宰相 中将御々	水の事な か久に々	三いろ々 ことさら	かしこま りて奉々	「高々 存候被々	仰之旨長 承了旁々	先日中請 候応徳々	良久不預 芳信不々	御即位職 掌人内々	夜前叙位 今晚入々	一日委細 の御書々	永徳二年 十二月々		
載◎103	載◎103	載◎103	載◎100	載◎102	載◎98	背◎96	背◎96	背◎95	背◎95	背◎95	背◎95	帯◎56	載◎84	背◎148	載◎89	載◎84	載◎85	載◎87		
陵二平一六	抄四 陵二平一六	壬五 抄四勅一〇平一六七	陵二平一六	史二二 勅一〇平一六七	陵二平一六	史二〇	史二〇	史二〇	史二〇	史二〇	史二二	予一九	柳一 三条本御即位記	史二二 (御一存)	柳一 三条本御即位記	柳一 三条本御即位記	柳一 三条本御即位記	柳一 三条本御即位記		
516 △(八月)	515 ○六月二八日	514 △(六月一四日)	513 ○六月一四日	512 △六月一日	511 △(六月一日)	510 △五月二九日	509 ◎四月二七日	508 △四月	507 ◎四月二三日	506 △四月一六日	505 △四月四日	504 △四月一日	503 △三月二九日	502 △(三月二九日)	501 ◎二月	500 △正月二四日	499 △正月二三日	498 △(正月一三日)	497 △(正月一三日)	496 △(正月七日)
中原師香書状	中原師香書状	三条公忠書状草	三条公忠書状	洞院公定カ書状	中原師香書状	一条経嗣書状	安倍守経地震古文	中原師香注送記	除目聞書	洞院公定書状	撰政直廬指図	土御門保光書状	土御門保光書状	県召除目散状	中原師香注送記	洞院公定書状	久我具通書状	三条公忠書状案	近衛道嗣書状	白馬節会散状
畏てらけ たまへけ	准后宣下 事へき々	抑折紙 献之候々	此間關筆 候恐爾々	月朔御慶 幸西々々	去廿六日 大御会々	指題目無 其後依々	今日廿四 日丁酉々	一國郡下 定着陣々	藤原親言 權中納言	可中々々 其後連々	(圖)	告朔御慶 幸甚々々	除書三ヶ 夜無為々	累召除目 初夜公々	永徳三年 二月三々	其後久不 申候何々	昨日委細 芳報尤々	十六日節 会親王々	親王可々 踏歌節会	公卿左々 白馬節会
載◎142	帯◎60	帯◎59	載◎136	背◎60	載◎133	背◎149	背◎127	載◎125	帯◎58	帯◎57	載◎121	帯◎63	帯◎63	載◎117	帯◎121	帯◎55	帯◎54	載◎107	載◎107	載◎104
陵一六	史二一 平一七	史二〇 陵二八平二三	抄四 史二一 陵一六平一七	史二〇	史二一 陵二六平一七	史二一	史二一 陵二六平一七	史二一 陵二六平一七	史二一 平一七	抄二 陵二一平一六	抄二	抄二	抄二	抄二 陵二一平一六	史二一 陵二一平一七	史二四 平二六	抄四	抄四 陵二一平一六	抄四 陵二一平一六	陵二一平一六

517	◎九月四日	太政官奏	太政官謹奏 大政官 恩問之旨 喜承候 畏てうけ たまわ	載③ 141	史一 陵二 六平一七
518	△九月二日	久我具通書狀	喜承候	帶④ 61	史二 八 平二 八
519	△(一〇月)	中原師香書狀	畏てうけ たまわ	載③ 143	史一 二 陵二 六
嘉慶元年 (至徳四年八月二十三日改元)					
520	◎正月二六日	三条実冬申文案	從七位上 善世宿	載② 127	柳三 倉
521	△(正月二八日)	中原師香書狀	除目去夜 入眼三	載② 128	柳三 倉
522	◎正月二八日	除目小折紙	藤原家 藤原家	載② 129	柳三 倉
523	△正月二八日	足利義滿和歌会催文	米月四日 内々可	載② 135	抄四
524	△正月二九日	三条実冬請文	早春宴梅 移袖寄	載② 136	抄四
525	△(正月二九日)	三条実冬懷紙案	春日同詠 三首和	載② 136	抄四
526	○二月一〇日	中原師香書狀	冬々委細 おほせ	載② 138	壬四 抄四
527	△二月二日	法染北野社和歌催文	可来廿五日 可有法	載② 139	抄四
528	△(二月二四日)	三条実冬十首和歌懷紙	春日陪北 野社壇	載② 140	抄四
嘉慶元年紙背年未詳					
529	正月二〇日	四条隆郷書狀断簡	「」撰 「」正月	背② 144	史二〇
530	二月二一日	三条実冬書狀	「」為可 直給	背② 146	史二〇
531	二月二五日	某書狀	此間久不 申入候	背② 147	史二〇
532	三月七日	威徳寺実禅書狀	日「」十六 日に候	背② 144	壬四
533	三月一七日	某書狀	自徳大寺 殿被召	背② 149	史二〇
534	二七日	某書狀	状昨日送 候し	背② 147	史二〇
535		某書狀		載② 144	史二〇
536		某書狀		載② 145	史二〇
537		四条隆郷書狀	嘉祝誠雖 事旧候	背② 145	史二〇
538		某書狀	自是申 之由存	背② 145	史二〇
539		某書狀	「」一巻 「」事	背② 146	史二〇
540		四辻善成書狀	無殊事候 間久不	背② 147	史二〇
541		四辻善成書狀	さても今 度十首	背② 148	史二〇
542		某書狀	恐禮之間 自是可	背② 148	史二〇
543		某書狀	一昨夕御 報昨朝	背② 148	史二〇
応永二年					
544	△正月二日	足利義滿御教書	來七日可 被申御	載② 151	史一 三 陵二〇
545	◎正月五日	叙位聞書	正二位藤 原隆仲	載② 152	史一 三 陵二〇
546	△(正月五日)	足利義滿太政大臣拝賀散狀	御拝賀 從公卿	載② 155	史一 三 陵二〇
547	△(正月五日)	三条公宣申狀案	中從四位 下侍從	背② 212	史一 三
548	△(正月五日)	足利義滿御教書	叙位儀執 筆御參	背② 218	史一 四
549	△(正月一七日)	三条実冬書狀案	祝言申旧 候了	背② 213	史一 三
550	◎正月二八日	除書	宮内卿藤 原行俊	載② 161	史一 三 陵二〇
551	◎正月二八日	後小松天皇宣旨	正二位行 權大納	載② 162	史一 三 陵二〇
552	◎正月二八日	公卿分配	可勤行諸 祭并大	載② 162	壬三 陵二〇
553	△(正月)	三条厳子書狀	なかり なかり	背② 212	史一 三
554	△二月一日	日野資教書狀	幕下御昇 進事雖	背② 215	史一 四
555		某書狀	ハヤ御返 り候や	背② 144	史二〇
556		某書狀	まことに 昨日は	背② 145	史二〇
557		某書狀	嘉祝誠雖 事旧候	背② 145	史二〇
558		某書狀	自是申 之由存	背② 145	史二〇
559		某書狀	「」一巻 「」事	背② 146	史二〇
560		四辻善成書狀	無殊事候 間久不	背② 147	史二〇
561		四辻善成書狀	さても今 度十首	背② 148	史二〇
562		某書狀	恐禮之間 自是可	背② 148	史二〇
563		某書狀	一昨夕御 報昨朝	背② 148	史二〇
564		足利義滿御教書	來七日可 被申御	載② 151	史一 三 陵二〇
565		叙位聞書	正二位藤 原隆仲	載② 152	史一 三 陵二〇
566		足利義滿太政大臣拝賀散狀	御拝賀 從公卿	載② 155	史一 三 陵二〇
567		三条公宣申狀案	中從四位 下侍從	背② 212	史一 三
568		足利義滿御教書	叙位儀執 筆御參	背② 218	史一 四
569		三条実冬書狀案	祝言申旧 候了	背② 213	史一 三
570		除書	宮内卿藤 原行俊	載② 161	史一 三 陵二〇
571		後小松天皇宣旨	正二位行 權大納	載② 162	史一 三 陵二〇
572		公卿分配	可勤行諸 祭并大	載② 162	壬三 陵二〇
573		三条厳子書狀	なかり なかり	背② 212	史一 三
574		日野資教書狀	幕下御昇 進事雖	背② 215	史一 四

575	574	573	572	571	570	569	568	567	566	565	564	563	562	561	560	559	558	557	556	555
			三月九日	二月一九日	二月一二日	二月八日	二月三日	正月二九日	正月一七日	正月五日	正月五日	四月九日	四月九日	四月九日	四月九日	四月八日	三月二九日	三月三日	二月八日	二月四日
某書状	某書状断簡	某書状断簡	某書状	某書状	時徳書状	某書状	裏辻公仲書状	某書状	三条実冬書状案	某書状	徳大寺実時書状	御筆御八講捧物	御筆御八講散状	御筆御八講僧名	兵部省移	三条実冬捧物送文案	後小松天皇口宣案	隨身交名	万里小路嗣房書状	某書状
よいゝの事 よへとく	(切封) 折入候	(切封) 折入候	「不存」 等閑候	「可令」 波申給	其後若不 啓案内	便候誠	「可驚」 申候当	「問省」 略候也	「慶殊」 畏奉候畢	「可述」 祝詞候	義和既從 青道之	御八講初 日公卿	御八講初 日公卿	講議義	兵部省移 右近衛	奉送御家 右大將家	「二年」 三月廿	隨身交名 番長久	御慶賀之 事雖非	日使先
背(美) 214	背(美) 213	背(美) 212	背(美) 217	背(美) 217	背(美) 218	背(美) 216	背(美) 215	背(美) 216	背(美) 214	背(美) 218	背(美) 217	載(美) 201	載(美) 192	載(美) 189	載(美) 180	載(美) 179	載(美) 178	載(美) 174	背(美) 219	背(美) 219
史一四	史一三	史一三	史一四	史一四	史一四	史一四	史一四	史一四	史一四	史一四	史一四	陵一〇	史一四陵一〇	史一四陵一〇	史一四陵一〇	史一四陵一〇	史一四陵一〇	史一四陵一〇	史一四	史一四
595	594	593	592	591	590	589	588	587	586	585	584	583	582	581		580	579	578	577	576
					一一月一六日	一一月一六日	八月五日	八月二日	六月一九日	四月七日	正月二三日	正月二〇日	正月九日	正月九日	正月五日	年未詳				
洞院公定書状断簡			三条実冬和歌懐紙 (貞治六年記原表紙)	昌智書状	昌智書状	土御門保光書状	吉田兼敦書状	吉田兼敦書状	三条実継書状	三条公忠書状案	柳原忠光書状	二条為遠書状	三条公忠書状案	三条実音書状	三条実継書状	某書状	某書状	某書状(577の統か)	某書状	佐長書状
「馬由」 聞及候	歌權大?	歌權大?	昨日御礼 送披見	「可相」 尋候出	伊講之処 貴礼長	長承了小 生首服	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出	「可相」 尋候出
帯(四) 66	帯(四) 83	帯(三) 282	帯(三) 154	帯(三) 154	帯(四) 79	帯(四) 52	帯(四) 78	帯(四) 52	帯(四) 79	帯(四) 78	参(四) 91	帯(四) 65	帯(四) 64	背(四) 65	背(美) 220	背(美) 216	背(美) 219	背(美) 215	背(美) 215	背(美) 215
史一一	史一四	史一〇陵一八平二三	史一九	史一九	諸	史三〇	史三〇	史三〇	諸	諸	史一四	史一三	史一五	史一三	史一四	史一四	史一四	史一四	史一四	史一四
平一七						陵一三平二八		陵一三平二八			平二四	勅九								

607	606	605	604	603	602	601	600	599	598	597	596	
中原師茂書状	三条公忠筆勸例写	中原師香勸文	太上天皇尊号御報書勸答案	柳原忠光書状断簡	公尊勸返	三条公忠書状断簡	某書状断簡	三条公忠勸例	節会装束	勸例(中右記)	洞院公定書状	洞院公定書状断簡
仰言かし こまりし	任相国事 後嵯峨	立坊年々	臣言伏拜 報章其	忠光上 (切封)		進之(花 押)	「」本尊 銘被押	一日両事 時装束	節会左右 兵衛府	大治四年 八月廿	只今如此 中候て	梅雨いつ しか無
背④ 77	带④ 73	带④ 72	带④ 71	带④ 70	带④ 70	带④ 70	背④ 70	带④ 69	带④ 68	带④ 67	带④ 66	带④ 66
史三〇	史三〇	史二九	史二二	史二二	史二八	史二八	史二八	史二八	史二八	史二八	史二〇	史二二
	平二〇	平二〇						平二五	平二五	平二五	平二三 勸九	